

## 「3年を振り返って」

9組 江口 乃愛

私にとって3年間のこの高校生活はとても濃いものだった。

まず第1に、高校生になってから毎日の登校に電車を使うようになったことは、1人で電車に乗ることが怖かった中学生までの私にとっては大きな変化だった。入学当初は、電車が駅に停まるたびにどこの駅なのか、乗りすごしていないかと不安になって駅の看板を探していたが、毎日の電車通学に慣れてきた頃には自分の好きな音楽を聴いたり、テスト勉強をしたりしながら登校するなど、約15分の乗車時間を有意義に過ごせるようになった。

第2に、2学年・3学年に整備美化委員として学校の美を保つ仕事をしたことは、私の高校生活において良い経験だったと思う。文化祭の時、決められた時間に規定のごみ箱に行き、しっかり分別できているか確認したり、積極的にあいさつをしたりした。この日の私は、すごく清々しい気持ちでいっぱい、仕事をやり遂げた達成感を感じることができた。

そして第3に、コロナ禍で友達の大切さと優しさを感じることができたことだ。私達が高校2年生の1月あたりから「コロナウイルス」というワードが飛び交うようになり、次第に感染者が増えはじめ、緊急事態宣言発令とともに休校になった。それからの日々は以前とは別世界であるかのようで、在宅時間が急激に増えたことで孤独を感じるが増えた。そんな中私の心の支えとなったのは友達との会話だった。直接会えない代わりに電話やメールで沢山やりとりをして、時には励まし合ったり勉強を教え合ったりして過ごした。私はこの生活の中で今まで以上に友達の大切さを感じたとともに、気遣いの言葉をくれる友達の優しさに触れることができた。

3年間で得たものは数えきれないほどあり、どれも私の心の中に強く残っている。1つ1つの思い出を大事に心の引き出しに仕舞って大学生活でも様々なことを吸収していきたいと思う。